

## 第4学年 国語科学習指導案

平成30年12月5日(水) 5校時

担任・学校司書

場所 4年教室

1 単元名 シリーズのおもしろさを味わおう 「世界一美しいぼくの村」

### 2 単元の目標

- つながりのある物語を読み、本の紹介バトルを通して読んだ本のおもしろさを伝えようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- ◎ 物語をより深く味わうために、つながりのある物語を人物の気持ちやその後の展開について、叙述をもとに想像しながら読むことができる。  
(読む能力)
- 理由を挙げたり引用したりしながら、読んだ本のおもしろさを筋道立てて話したり、友達の本の紹介を聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。  
(話す・聞く能力)
- 物語を理解したり、おもしろさを表現したりするために、必要な語彙を増やすことができる。  
(言語についての知識・理解・技能)

### 3 基盤(児童館省略)

- 本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」及び、カ「目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。」である。

児童は、大事な言葉に着目して読んだり、物語のあらすじをまとめて友だちに紹介したりすることを学習してきた。そこで、本単元ではつながりのある物語を読み、友達に紹介したい物語を一つ選び、バトル形式で自分の選んだ物語のおもしろさを伝える活動を設定した。

本教材は、アフガニスタンに住んでいるヤモの一日を取り上げ、その日々の生活が戦争により破壊される悲惨さを感じさせる物語である。最後の一文で物語が大きく展開し、読み手に強い印象を残す。児童がすぐに続きを読みたくなる結末のため、読書が苦手な児童も進んで次の物語を読めると考える。

本教材の続きとなるシリーズ2冊目の「ぼくの村にサーカスが来た」は、ヤモの住むパグマンにサーカスがやって来たときの話である。読んでいてわくわくするようなサーカスの場面やそれを楽しむ村の人々の様子が明るく描かれている。そして、「世界一美しいぼく村」と同様に結末でまた物語が大きく展開する。しかし、1冊目では分からなかったパグマンの村の人々の安否について書かれていて、これからの展開に希望を持たせた文で終わっている。また、シリーズ3冊目の「世界一美しい村へ帰る」はヤモの友人のミラドーの視点から、戦争で破壊されたパグマンの村の様子やヤモのその後の姿などが描かれている。シリーズ全てを読むことで登場人物の変化や詳しく分かること、新しい発見などがあり、つながりのある物語のおもしろさを十分に感じるができるだろう。

○ 以上のような児童の実態と教材のねらいから、以下の点を大切に指導していきたい。

#### 研究の視点（１） - ①主体的な学びの姿を求めて

##### ア 単元構成の工夫

###### ・本の紹介バトル

本単元では言語活動として、本の紹介バトルを行う。バトル形式にして本の感想やおすすめしたいところを伝え合うことで、読書があまり好きでない児童も意欲的に学習に取り組めると考える。単元のねらいは、つながりのある物語を読み、そのおもしろさを味わうことや感想を伝え合うことなので、バトルの勝敗ばかりにこだわってしまうことのないように気をつけたい。この活動を行う際には、ただ物語のおもしろさや引用した文を伝えるのではなく、物語のつながりやシリーズ全てを読みたくなるような紹介をするということを児童にしっかりと意識させたい。そのためにも、バトルを行うまでの学習で、つながりのある物語を読むことの楽しさを感じ取らせたい。また、本の紹介バトルで紹介する本は、担任と学校司書で集めたつながりのある物語から、複数のシリーズの本を読み、1番気に入ったものを紹介する。内容や文章の量を参考に二段階に本を分けておき、児童が本を選ぶ際の目安にする。紹介したい本が友達と同じになった場合は、ペアで本の紹介をする。そのため、一人で本の紹介をする児童とペアで本の紹介をする児童がいる。特に、初級の本から選ぶ児童がペアになることが予想されるが、本の内容を理解した上で、紹介の準備や練習でアドバイスをしたほうが読書が苦手な児童には有効だと考える。

###### ・図書館活用

第2・3次で「世界一美しいぼくの村」の読み取りをするときやそのシリーズを読むとき、第4・5次でつながりのある物語を読むときには図書館の資料を活用する。それに併せて、単元を通して学校司書と連携しながら学習を進めていく。「世界一美しいぼくの村」の続きとなる「ぼくの村にサーカスがきた」、「世界一美しい村にかえる」を読むときや、物語にでてくる分からないことを調べるためにアフガニスタンについての本を使うときには、学校司書が本の紹介を行う。さらに、第2次からの並行読書でつながりのある物語を自分で選ぶ際には、学校司書によるブックトークを行う。そうすることで読書があまり好きでない児童も物語に興味を持ち、意欲的に読書ができるようにする。また、第3・4次で個人で読書をするときにも、一人で読むことが難しい児童の支援を学校司書が行い、どの児童も物語を深く読んだり読書を楽しんだりできるようにする。

##### イ ルーブリックの作成

昨年度より、児童のメタ認知能力を育成する手段のひとつとして、ルーブリックの作成と活用を行っている。全校朝礼やデリバリースピーチなど国語科以外の場面でも活用し、児童にとってはなじみのあるものとなっている。ルーブリックを作成し、振り返りに活用することで、児童が目指す具体的な姿を意識して学習に向かえるのではないかと考える。また、他のグループの発表を聞くときの視点にもなるだろう。

本単元でも、児童と一緒にルーブリックを作成する。本の紹介バトルをするのは初めてなので具体的なイメージが持ちにくいかもしれない。そのため、どんな紹介だとその本を読みたくなるか問いかけ、ルーブリックの内容を教師と一緒に考えていきたい。

研究の視点（１） - ②対話的な学びの姿を求めて

ウ 学び合いのための工夫

・場の設定

本時では、本の紹介バトルの前段階として、グループで紹介の練習をし、アドバイスをする。その時のグループは、上級の本を選んだ児童と初級の本を選んだ児童で構成された「相談グループ」で行う。グループのメンバーでの対話を通して、試行錯誤しながら、互いに紹介の内容をよりよいものへと高め合うことができると考える。

4 指導計画（全13時間・本時10/13）

時	主な学習活動	教師の支援	評価規準と評価方法
1次	① <b>学習のめあてをつかみ、見通しを立てる。</b> ② ・学習の見通しを立てる。 ・初発の感想を書き、共有する。 ・本の紹介バトルについて知り、学習に意欲的に取り組めるようにする。 ・本の紹介バトルのルーブリックを作成する。	○初発の感想や疑問を短冊に書かせ、場面ごとに黒板に貼って共有し、視覚的にも捉えやすくする。 ○担任と学校司書で実際に本の紹介バトルを行い、本の紹介バトルについての理解を図る。 司本の紹介バトル	関物語について感想や疑問を持ち、本の紹介バトルを行うという学習課題を確かめ、進んで学習に取り組もうとしている。（発言・行動観察）
2次	③ <b>自分たちの課題について、「世界一美しいぼくの村」を読み取る。</b> ④ ⑤ ・1次で共有した感想の中から、疑問をもとに読み取っていく。 ・授業の終わりに、自分の好きなシリーズ本の並行読書をする時間を設定する。	○読み取りが浅くなったり、主題からずれたりしないようにするために、教師からも課題を出す。 ○本文を引用した課題を出すことで、引用について確認する。 ○アフガニスタンについてわからないことや課題が解決できるように、アフガニスタンについての本を教室に置き、すぐに調べられるようにする。 ○司書によるブックトークでつながりのある物語を紹介し、読書が苦手な児童も関心が持てるようにする。 ○様々な内容、長さの本を用意し、自分に合った本を選べるように2つのレベルに本を分けておく。 司アフガニスタンについての本の紹介、つながりのある物語のブックトーク	読行動や会話などの叙述をもとに、ヤモの家族やふるさとを思う気持ちを読み取っている。（発言・ノート） 読最後の一文について感想を交流し、一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。（発言・ノート）

3次	⑥	<p>「世界一美しいぼくの村」、「ぼくの村にサーカスがきた」、「世界一美しい村に帰る」を物語のつながりを意識しながら個人で読み、感想を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界一美しいぼくの村」、「ぼくの村にサーカスがきた」、「世界一美しい村に帰る」の絵本を個人で読み、感想を持つ。</li> <li>・それぞれの感想を全体で共有する。</li> </ul>	<p>○3冊の本を個人で読み、ワークシートに感想を書かせる。</p> <p>○一冊ずつの感想だけでなくシリーズを読んだ感想が持てるように、物語のつながりを意識させる。</p> <p>○自分の好きな順番で3冊読む。</p> <p>○1人で読むのが難しい児童には担任や学校司書が支援する。</p> <p>司読書の支援</p>	<p>読中心となる事柄や、表現の細かい点に着目して読み、三つの物語のつながりを考えている。(行動観察・ワークシート)</p>
	⑦	<p>「世界一美しいぼくの村」シリーズで本の紹介バトルの練習をする。</p>	<p>○ペアで本の紹介バトルの練習をする。</p>	<p>話聞感想を伝えたり引用したりしながら、読んだ本のおもしろさを筋道を立てて話している。(本の紹介バトル)</p>
4次	⑧ ⑨	<p>つながりのある物語を個人で読み、感想を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりを意識しながら読み、感想を持つ。</li> </ul>	<p>○選んだ本だけの感想ではなく、物語のつながりを意識させる。</p> <p>司読書の支援</p>	<p>読物語をより深く味わうために、つながりのある物語を読み、感想を持っている。(行動観察・ワークシート)</p>
5次	⑩ (本時) ⑪	<p>本の紹介バトルの準備、練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引用する文やその理由、読みたくなるような本の紹介を考える。</li> <li>・バトルの練習を行う。</li> </ul>	<p>○つながりを意識した感想や紹介ができるようにさせる。</p> <p>○ルーブリックを提示し、目指す姿を意識させる。</p> <p>司グループでの準備、練習の支援</p>	<p>読読んだ本のおもしろさを伝えるために、文章の要点や細かい点に注意しながら物語を読み、本の紹介バトルの内容を考えたり、友達にアドバイスしたりしている。(ワークシート、発言、行動観察)</p>

並行読書



	⑫	本の紹介バトルを行う。 ・同じレベルの本を選んだ人でグループになり、バトルを行う。	○バトルの聞き手に、話し方よりも紹介の内容を重視して、審査をするように伝える。	【話聞】感想を伝えたり引用したりしながら、読んだ本のおもしろさを筋道を立てて話している。(本の紹介バトル)
6次	⑬	振り返りをする。	○バトルの結果ではなく、つながりのある物語を読むことの楽しさを感じられたかという点で振り返りをさせる。	【読】つながりのある物語を読むことの楽しさを感じられたか、またその楽しさを伝えることができたか振り返っている。(発言・ノート)

## 5 本時の学習 (全13時間 本時 10/13)

### (1) 目標

- 読んだ本のおもしろさを伝えるために、文章の要点や細かい点に注意しながら物語を読み、本の紹介バトルの内容を考えたり、友達にアドバイスしたりできる。 (読む能力)

### (2) 学習の展開

	学習活動と予想される児童の反応	○教師の支援 ☆評価
導入	<p>1 前時までの振り返りと本の紹介バトルについて確認する。</p> <p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>聞いている人が読みたくなるような本の紹介バトルの準備をしよう。</p> </div> <p>3 本時の流れの確認</p>	<p>○単元の流れを見せることで、前時までの学習を振り返らせると同時に、今後の学習に見通しを持たせる。</p> <p>○1冊だけでなく、シリーズすべてを読みたくなるような紹介をすることをおさえる。</p> <p>○ルーブリックを見せ、どんな内容の紹介がいいのか確認する。</p>
展開	<p>4 前時までのワークシートをもとに、本の紹介バトルの内容を考える。</p> <p>5 グループになって本の紹介の練習をし、アドバイスをしあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この文を引用したほうが、この物語のおもしろさが伝わると思うよ。</li> <li>・1巻から3巻までの主人公の変化がわかる感想だから、みんな読みたくなるだろうね。</li> </ul>	<p>○担任と学校司書で、1人で準備を進めることが難しい児童を支援する。</p> <p>○上級の本を選んだ児童と初級の本を選んだ児童でグループを作り、練習やアドバイスをする。</p> <p>○話し方ではなく、紹介の内容についてアドバイスする意識を持たせるために、ルーブリックや選んだ本をいつでも確認できるようにして</p>

	<p>・その感想だと1巻だけのことから、シリーズ全てを読みたくないと思うよ。</p>	<p>おく。</p> <p>○担任と学校司書は机間指導を行い、紹介の内容についてアドバイスできているか支援する。</p> <p>☆読んだ本のおもしろさを伝えるために、文章の要点や細かい点に注意しながら物語を読み、本の紹介バトルの内容を考えたり、友達にアドバイスしたりできる。(ワークシート、発言)行動観察)</p>
まとめ	<p>6 振り返りを書き、本時のまとめをする。</p>	<p>○時間があれば振り返りを発表させる。</p> <p>○次時の内容を伝え、意欲を高めさせる。</p>

### (3) 研究の視点

○本時の目標を達成するための教師の支援は効果的であったか。(本の紹介バトル、グループでの活動、ルーブリック、ワークシート)

○主体的・対話的な姿になっていたか。

### (4) 本時の具体的な評価規準

十分満足できると判断される児童の具体例	概ね満足できると判断される児童の具体例	努力を要すると判断される児童の具体例と○支援
<p>シリーズのつながりを意識した感想を伝え、印象に残った一文を引用し、聞いている人が読みたくなるような引用の理由も考えることができる。</p>	<p>シリーズのつながりを意識した感想を伝え、印象に残った一文を引用することができる。</p>	<p>シリーズのつながりを意識した感想や引用を考えることができない。</p> <p>○前時までのワークシートの感想をもとに、もう一度本を読みながら感想や引用する文を考えさせる。</p>

## 6 ルーブリック

	S	A	B
物語について (あらすじ、登場人物など)	・物語の内容をわかりやすく短くまとめて話している。	・物語の内容（あらすじ、登場人物など）を短くまとめて話している。	・物語の内容をまとめずに長く話している。
感想	・同じシリーズの本とつながりのある感想を自分の考えも入れて話している。	・同じシリーズの本とつながりのある感想（気持ちの変化、場面の様子）を話している。	・一冊だけの感想を話している。
	・好きな場面や登場人物、物語の主題について話している。	・好きな場面や登場人物について話している。	
引用	・印象に残った文を引用し、その理由も言っている。	・印象に残った文を引用している。	・全く引用していない。

## 7 研究協議の概要

参加者	校内 11名 校外 16名 計 27名
授業及び研究協議の概要	<p><b>授業の概要</b></p> <p>前時までの学習で、自分の選んだシリーズ本の感想や好きな場面、好きな一文をワークシートにまとめている。本時では、そのプリントをもとに、聞いている人が読みたくなるようなシリーズの紹介をグループで考える学習を行った。</p> <p><b>協議の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の選書がよい。</li> <li>・児童が選ぶ本が絵本であってもかまわない。絵本にも力のあるものがある。実態に合わせて用意してよい。そして、まず教師が全ての本に目を通すことが大切である。</li> <li>・グループで紹介を考えると、読書が好きな児童がアドバイスできるのでよい。</li> <li>・シリーズ本を読み切ることは難しいが、あえて国語の時間に取り上げることが大切。1冊だけでは感じられない楽しさを味わうことができると思う。ワークシートの中に次の「わくわく」を記す欄を作っておくとよい。</li> <li>・「つながり」を読み取って紹介している姿が見受けられ良かったが、中には、読み取りが不十分で「つながり」を考えられていない児童もいたので、支援の工夫が必要である。</li> <li>・順番が書いてないシリーズ本を順番通りに読むのは難しい。</li> <li>・バトル形式は、小学生で行うのは難しい。しかし、本学級の児童の実態からは読書意欲・活動意欲を向上させる上で、良かったと思う。勝敗を決めることは、小学校段階では難しい。やり方については、児童の心に負担をかけないように、更に工夫する必要がある。</li> </ul>